平成 23 年度 青木小学校 研究の構想図

学習指導要領

- ○児童に生きる力をはぐくむことを目指す
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得
- ・ 基礎・基本の知識を活用し課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ
- 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

学校教育目標

- ・あかるい子 (温かい心と思いやりの心を持つ、 素直な子)
- ・かしこい子(基礎基本を身につけ、状況に応じ、 自ら判断できる子)
- ・たくましい子(継続してやり抜く強い意志と身 を持つ子)

教師の悩み・課題・願い

- ・学習への意欲を持たせて授業に向かわせたい。
- ・話し合いの時間をしっかりとり、友とのかかわりの中で 学び取っていかれる子にしていきたい。
- ・発表する時に結論や答えは言えても理由を説明できない 子が多い。
- ・子どもの意見をどうつなげたら良いのか難しい。
- ・理解力に差がある子ども達への一斉指導が難しい。
- ・単元の中でつけたい力の定着までいかないことが多い。
- ・見とどけの時間がとれずに終わってしまうことがある。

児童の実態

- ○学習に対してまじめに取り組む子が多い。
- ○考えることは好きな子が多い。
- ●失敗を恐れる子が多い。
- ●言われたことはできるが自分から進んで考えを深めたり広げていこうとする意欲に乏しい。
- ●既習事項などを使って問題を解いていくことができる子が少ない。
- ●CRTで観点別の関心意欲態度と知識・理解の数値が 低い学年が多い。
- ●表現力が弱い。

学習活動を通してめざす子どもの姿

・新たに出会った課題に対し、自分から進んで、既習事項やこれまでの体験・友達の 考えなどをもとに、筋道立てて考え、理由を明らかにして解決していく子ども

全校研究テーマ

友とかかわりながら自ら考え学びをつなげる子ども

基礎・基本の定着

- ドリルの時間の確保
- ICT機器の活用
- 家庭学習ノートの指導

今年度の重点

- 自分の考えを表現する力の育成
- 友達の考えを理解し生かす力の育成
- 基礎・基本の定着

研究体制

連学年会による研究

- 低学年部会
- 中学年部会
- 高学年部会

自分の考えを表現する力

- ○一人一人が自分の考えを持つ。
 - 課題を理解する
 - ・問題文から読み取ったことを 絵や図や言葉などで表す。
 - ・既習事項を活用して考える。
- ○相手意識を持ってわかりやす く表現する。
 - ・根拠をはっきりと示して発表する。
 - ・既習事項を活用して説明する。

習)・全体学習の工夫の関学習・グループ学習(ご

学

友達の考えを理解し生かす力

- 自分の考えと比べながら 聞く。
- ・よい聴き方を身に付ける。
- ・共通点相違点を意識して聞く。
- 友達の考えを説明する。
- ・言葉や図式絵などで表せる。
- 友達のよい考えを生かす。
- 友達の考えの良さがわかる。

学年テーマ

学年の状、 全校研究テーマに基でいた研究が 行う。

(9月以降)

授業力の向上

「ねらい」・・「ねらい」の提示 「めりはり」・・ふれる・関わる・考える・感じる場をつくる「みとどけ」・・見返しや発展問題・定着問題を行う時間を確保する。

